

講義名	消費者問題論			授業形態	
担当教員	森脇 丈子	開講期・曜日・時間	後期 月曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
			ナンバリング・コード	ECN288	

主題と概要

私たちはさまざまな商品やサービスに囲まれて生活しています。健康志向の高まり、高齢化に対応した商品やサービス、子どもたちの興味をひきそうなカラフルな商品などたくさんあります。また、購買方法にも変化しており、個人がインターネット経由で直接海外から商品を取り寄せることも可能となっています。しかしながら、国内の生産者やメーカーとの取引の範囲を超えて、消費者がトラブルに巻き込まれる事例も増加しています。また、悪徳商法による被害は残念ながら減少していません。この講義では、商品・サービスの売り方(企業側の視点)ならびに消費者の購買行動・引っかかりやすさ(経済的側面と心理的側面)について、多様な事例を使いながら学んでいきます。また、消費者に関連する法律にも触れ、より安全な消費生活を実践するために何が必要か、どういった行動を身に付けるべきか、社会で必要とされる取り組みは何かについて学び、いっしょに考えていきます。また、毎回の講義の中で、受講生との質疑と議論をおこないます。

到達目標

1. 売れ行きよい商品の秘密を知り、それが消費者にどのように受け入れられているかについて、理解できるようにする。
2. 消費者がついていってしまう「買いたくなる」「断れない」状況について、理解できるようにする。
3. 悪徳商法の実例や対処方法などについて学び、対処できるようにする。
4. 消費者保護に関連する法律の特徴について学び、生活に活かすことができるようになる。
5. 消費者の立場から消費や生活のあり方の改善点について、自分で考えるという習慣を身に付けることで避けることのできる消費行動の失敗について、学び、行動できるようにする。

提出課題

課題はありません。毎回の授業で、復習と予習を出します(提出の必要なし)。毎回の予習と復習に取り組む受講生は発言得点が高く、かつ、単位修得率も高い傾向にあります。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

授業開始時に、前回の授業に関する質問や感想について、コメントをします。
授業開始時に、前回の授業の復習問題を提示します。手を挙げて発言し、発言点を積み上げていただきます。

評価の基準

1. 「授業中の発言」... 30点満点 (1回の授業あたり2点×15回)
 2. 「定期試験」... 70点満点
- 授業時間中に発言による得点を得た人も、授業態度が悪い(ex.スマホや居眠りで授業に集中していない)場合には、発言点を取り消します。
- 上記の「1+2」の合計点で、評価をします。
合計60点以上が、合格です。59点以下は、不合格です。

履修にあたっての注意・助言他

新聞・ニュース・雑誌等で社会の出来事や消費者に関連する問題などについて、情報を日々収集しておいてください。
第1回目の授業がイタズラに必ず出席し、授業の進め方、課題の提出方法、評価基準をしっかりと理解したうえで、受講してください。
授業では、かならずメモをとってください(PPT等のスライドも本による撮影は禁止します)。
関連科目として、次の講義の受講を勧めます。
「生活構造論」、「経済学入門」、「NPO論」

教科書

「使用しない」.					
----------	--	--	--	--	--

参考図書

なぜ科学を学ぶのか。	池内了	筑摩書房	924	9784480683601
消費者心理学。	山田一成・池内裕美	勁草書房	2970	978432625128
やめられない キャンブル地獄からの生還。	帯木蓮生	集英社	682	4087440117

その他

- ・杉浦市郎/編(2020)『新・消費生活 これだけは(第3版)』、法律文化社。
- ・鈴木直弘(2022)『食の競争 売場の扉に落ちる日本』、文藝春秋。
- ・アダム・オルタ (2019)『ぼくらはそれに抵抗できない「依存症ビジネス」のつづられたか。』、ダイヤモンド社
- ・堤未業(2022)『ルボ 食が壊れる 私たちは何を食べきにさせるのか?』、文藝春秋
- ・その他の参考文献は、授業中に適宜紹介します。

授業計画

1. 市場に出回る商品・サービス(1)・売れない時代の企業の工夫
毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
2. 市場に出回る商品・サービス(2)・購入をいかに促すか
毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
3. 市場に出回る商品・サービス(3)・消費者へのインパクト
毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
4. 市場に出回る商品・サービス(4)・新製品の開発
毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
5. 悪徳商法の事例と対策(1)・高齢者を狙った詐欺
毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
6. 悪徳商法の事例と対策(2)・若者や主婦を狙った詐欺
毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
7. 食の安全性(1)・食品偽装のあれこれ
毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
8. 食の安全性(2)・食品偽装はなぜ起こるか、食品に関わる法律
毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
9. クーリング・オフ
毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
10. 食品表示
毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
11. 商品事故・一服商品・子供向け商品
毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
12. 消費生活
毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
13. 「ニセ科学」について考える(1) 心に関する問題「平均への回帰」
毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
14. 毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。今回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。「ニセ科学」について考える(2) 科学の知識で対処できない問題への対処法
15. まとめ 定期試験に関する説明

授業形態(アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> A: PBL(課題解決型学習)	<input type="checkbox"/> イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> W: ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> E: グループワーク
<input type="radio"/> P: プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> C: 実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> F: その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会の仕組みや働き、日常生活と文化、人々の心理など、現実社会の様々なテーマに取り組み、よりよい人間社会を創造することができる。統計調査やフィールドワークなどの実証的な調査研究の方法、コミュニケーション能力を身に付け、それらを社会共創活動、ビジネス、援助に実践的に活用することができる。
社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができる。社会の問題や人びとの考え方を捉えることができ、社会共創・産学連携、イノベーションなどで現実社会との接点を持ち、「社会人」として活躍できる基礎的な能力を身に付け、より良い社会を実現するための新しい社会、文化を創造することができる。さまざまな場面に直面する人間の心理と行動を科学的に分析し予測することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

対面の授業中に多くの質問を出します。受講者は、手を挙げて自分の意見を述べてください。発言は加点の対象です。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし。

備考

第1回目の授業に必ず出席し、授業方法、成績評価方法について、しっかりと理解してください。
授業ではメモをとって、理解を深めてください(スマホによるPPT等の撮影は禁止します)。
出席者にプリント、新聞記事を適宜配布します。就職活動等による欠席者は、登壇の授業開始前に前回プリントを受け取ってください。
正当な理由のある欠席については、欠席後10日以内に連絡をしてください。この場合、「欠席」扱いにはしません。この期間を過ぎた申し出は受け付けません。
教室での勝手なおしゃべりや教室への出入り、スマホ等電子機器の利用を禁止します。